

SARSの正しい知識

重症急性呼吸器症候群（サーズ）

SARS（サーズ）とは「Severe Acute Respiratory Syndrome」の略で、日本では「重症急性呼吸器症候群」と呼ばれています。

SARSは平成14年11月ごろ中国広東省で最初に発生し、香港や北京など中国の他の地域にも拡大しました。また、カナダやシンガポール、ベトナムなどでも感染者が見つかり、世界中で大きな問題となっています。

SARSって
どんな病気？

38℃以上の発熱、
せき、息切れなど

SARSの主な症状としては、38℃以上の発熱、せき、息切れ、呼吸困難などで、胸部レントゲン写真で肺炎または呼吸窮迫症候群の所見（スリガラスのような影）が見られます。また、頭痛や悪寒、食欲不振、全身倦怠感（体のだるさ）、下痢、意識混濁などの症状が見られることもあります。

SARSの
原因って何？

病原体は
コロナウイルス

SARSの原因となる病原体は、WHOによって新型のコロナウイルスと発表され、「SARSコロナウイルス」と名付けられました。

しかしながら、完全にその実態が明らかになつたわけでもなく、現在もコロナウイルスとSARSとの関連性を詳しく知るための調査がされています。

SARSの
診断は？

「SARS疑い例」と
「SARS可能性例」

SARSは、新しい感染症であり、明確な「診断」をすることは難しい状況です。

現在、WHOによる「疑い例」と「可能性例」という症状によって定められた報告基準に準じて診断され、世界各国から報告されています。（報告基準は次のとおりですが、今後変更される可能性があります）



用語の解説

※1 WHO

World Health Organization の略で、世界保健機関のこと。保健衛生向上のための国際協力を目的に国連の専門機関の一つとして1948年に設立。伝染病の情報や衛生統計の交換などが行われています。

※2 コロナウイルス

電子顕微鏡で見たとき、ウイルスの表面から花弁状の突起が出ていて、太陽のコロナのように見えるウイルスのこと。